



平成 27 年度 F D 推進プログラム

「大学教育カンファレンス in 徳島」の開催

徳島大学（学長：香川征）では、これまでの F D 活動の成果を検証し、F D ネットワークを充実・発展させる機会となるよう、本学や他の高等教育機関で行なわれている教育実践の先駆的な取り組みを共有し、大学教育の質的向上に向けた努力の成果を確認するための教育カンファレンスを下記のとおり開催します。

※F D (Faculty Development) とは、「大学教員の教育能力を高めるための実践的方法」のことであり、大学の授業改革のための組織的な取り組み方法を指します。

(報道概要)

1. 日時：平成 28 年 1 月 6 日（水）9：00～18：05
 2. 会場：徳島大学共通教育 4 号館等
 3. プログラム（詳細は別紙のとおり）：
 - 副学長挨拶（9：00～9：15）
 - 研究発表
 - ◇口頭発表 9 件（9：15～10：00）
 - ◇大学教育再生加速プログラムシンポジウム（反転授業）（10：10～11：40）
「反転授業」をやってみたー2014 年からの実践を通してー
 - ◇ワークショップ 2 件（10：10～11：40）
 - A. アクティブラーニングを取り入れた自律英語学習支援についてーオリジナルな英語学習方法について考えようー
 - B. アクティブからパフォーマンスティブラーニングへー身体とこえとことばを体験するー
 - ◇ポスター発表 13 件（11：55～13：15）
 - 特別講演（13：30～15：00）
ICT を利用した効果的な教育・学習のための授業設計と実践
講師：飯吉 透先生（京都大学高等教育研究開発推進センター長 教授）
 - 研究発表（続き）
 - ◇大学教育再生加速プログラムシンポジウム（アクティブ・ラーニング）& ラウンドテーブル（15：10～16：40）
アクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践
 - ◇口頭発表 10 件（16：50～18：05）
- ※カンファレンス終了後に情報交換会を行います。

4. 参加方法

どなたでもご参加いただけます。当日直接会場へお越しいただき、受付をしてください。参加費無料（情報交換会にご出席の方は、会費が 3,000 円となります。）ただし、ワークショップ A・B はメールに、氏名・年齢・ご所属・ご連絡先を明記の

様式1

上、12月24日（木）正午までに学務部教育支援課教育企画室
kykikakuk@tokushima-u.ac.jpへメールでお申込みください。駐車場が限られてい
るため、公共交通機関をご利用の上ご来場くださるようお願いいたします。

5. 主催：徳島大学FD委員会

大学教育再生加速プログラム実施専門委員会

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

お問い合わせ先

部局名 徳島大学FD委員会

責任者 委員長 赤池 雅史

担当者 徳島大学学務部教育支援課教育企画室
大学教育カンファレンス in 徳島 事務局
上岡 麻衣子

電話番号 088-656-7686

メールアドレス kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

平成27年度 FD推進プログラム 大学教育カンファレンス in 徳島

2016年 **1月6日(水)** **9:00~18:05**
(8:30受付開始)

受付：徳島大学 共通教育4号館 2階ホール
会場：徳島大学 共通教育4号館 等

**参加費
無料**

※情報交換会ご出席の方は
会費が3,000円
となります。

主要プログラム

午前

■ 開会挨拶 9:00~9:15

■ 研究発表

● 口頭発表 9件 / 9:15~10:00

● ワークショップ 2件 / 10:10~11:40

アクティブラーニングを取り入れた
自律英語学習支援について
-オリジナルな英語学習方法について考えよう-

アクティブからパフォーマンスラーニングへ
-身体とこえとことばを体験する-

午後

● ポスター発表 13件 / 11:55~13:15

● 口頭発表 10件 / 16:50~18:05

※カンファレンス終了後に情報交換会を行います。

■ 特別講演 13:30~15:00

ICTを利用した効果的な 教育・学習のための授業設計と実践

講師 **飯吉 透先生** 京都大学高等教育
研究開発推進センター長 教授

ICTの活用によって、より多様で柔軟な教育・学習を可能にするような
新たな教育方法、学習環境、効果的な授業設計と実践のあり方について、
具体的な事例を通して概観・考察し、さらにこれからの教育システム
や社会の姿とその可能性を予見します。

APシンポジウム(反転授業) 10:10~11:40 午前

● 「反転授業」をやってみた - 2014年からの実践を通して -

APシンポジウム(アクティブ・ラーニング) & ラウンドテーブル 15:10~16:40 午後

- プロサッカーチームを活用した実践事例
- アクティブ・ラーニングを通じた政策コンペティションの実践
- 職場巡視体験演習を通じた看護大学生の学び
- ラーニング・マネジメント・システムを活用した反転授業の工夫

※APとは大学教育再生加速プログラムのことです。

参加方法

どなたでもご参加いただけます。
当日直接会場へお越しいただき、
受付をしてください。

お問い合わせ

徳島大学学務部教育支援課教育企画室
大学教育カンファレンスin徳島事務局
〒770-8501 徳島市新蔵町2-24
TEL088-656-7686
E-mail:kykikakuk@tokushima-u.ac.jp
http://www.tokushima-u.ac.jp/cue/fd/

[アクセス]

- 徒歩の場合 — 30分
 - バス利用の場合 — 20分
- 徳島駅前より徳島市営バス「島田石橋」行、
「商業高校」行他に乗車し、「助任橋」又は
「徳島大学前」又は「徳島大学南」下車徒歩5分



※駐車場が限られているため、
できるだけ公共交通機関をご利用の上、
ご来場をお願いします。



平成27年度 大学教育カンファレンス in 徳島 プログラム

会期：2016年1月6日(水) 会場：徳島大学共通教育4号館 等

9:00-9:15	副学長挨拶 高石 喜久 <共通教育4号館202講義室> 司会：赤池雅史		
9:15-10:00	口頭発表A ① Jリーグチームをフィールドとした体験学習プログラムのジェネリックスキル評価 ② ジェネリックスキル育成の試行と検証 ③ 阿南高専におけるAP事業の取組状況報告—コンピテンシー育成と学修成果の可視化—	口頭発表B ① 学生と図書館職員の協働による学習支援の実績と将来展望～学びサポート企画部のこれまでとこれから～ ② ロケットプロジェクトを通して得られたこと ③ 先行研究を活かしたたたらプロジェクトの取り組み	口頭発表C ① 中学・高校への化学実験出張講義におけるティーチングアシスタントの役割と継続的改善 ② 社会人および大学院生を対象とした危機管理人材養成プログラムの実践 ③ 化学応用工学科学部生の大学院進学に関する意識
10:10-11:40	ワークショップA ■ アクティブラーニングを取り入れた自律英語学習支援について —オリジナルな英語学習方法について考えよう—	ワークショップB ■ アクティブからパフォーマティブラーニングへ —身体とこえとことばを体験する—	APシンポジウム(反転授業) ■ 「反転授業」をやってみた —2014年からの実践を通して—
11:55-13:15	ポスター発表 ① 高大接続科目・数学から見える学生の学習状況 ② 東日本大震災から学ぶ、防災教育の実態とあり方～福島と徳島における放射線教育についての調査報告を含めて～ ③ 色覚特性者に関する予備調査の結果と光応用工学から教育工学に対して可能な提案 ④ 公開講座におけるプロトタイピング手法を用いた体験型教育の実践 ⑤ ゲーム開発によって向上する能力を考察 ⑥ アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップに関する一考察 ⑦ 臨床実習での技能トレーニングにおける反転授業の効果 ⑧ ICT活用教育を目指したLMS導入初年次の取組 ⑨ 大人数制キャリア教育における効果的手法の開発と検証—アクティブ・ラーニングによる社会人基礎力の育成— ⑩ コンピテンシー育成を意識した授業実践 ⑪ 共通教育課程における留年のリスクファクターに関する研究 ⑫ 映画を活用した授業実践—ジェネリックスキルの育成に向けて— ⑬ 基礎物理学講義のFCIによる評価		
13:30-15:00	特別講演 演題: ICTを利用した効果的な教育・学習のための授業設計と実践 司会：川野卓二 <4号館201講義室> 講師: 飯吉 透先生 (京都大学高等教育研究開発推進センター長 教授)		
15:10-16:40	APシンポジウム(アクティブ・ラーニング) & ラウンドテーブル ■ プロサッカーチームを活用した実践事例 ■ 職場巡視体験演習を通じた看護大学生の学び ■ アクティブ・ラーニングを通じた政策コンペティションの実践 ■ ラーニング・マネジメント・システムを活用した反転授業の工夫		
16:50-18:05	口頭発表D ① 初年次教育でラーニングスキル、ティーチングスキルの向上を目指した組織的取り組み—「SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～」の実施— ② 学生アンケートに基づく初年次教育プログラムの現状と課題—「SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～」の取組 ③ アクティブラーニングのステップアップとしての協働学習—フォーラム・シアターの実践を通して— ④ 卒業研究の教育改善を目指した取組みについて ⑤ 共通教育における持続可能な社会を目指す体験型学習	口頭発表E ① 燃料電池の製作と改良 ② コイルガンの変換効率向上に向けての研究と成果 ③ 教学IRデータをいかに可視化するか—愛媛大学の事例を通じて— ④ 徳島大学における授業コンサルテーションの成果と課題 ⑤ 徳島大学における「科目ナンバリング・システム」作成の試みと今後の展望	

18:30～20:30 情報交換会 <クリア(第2食堂)>